

会誌「比較内分泌学」投稿要領

投稿に際しての要領、注意点が掲載されています。投稿前に必ずお読みください。

本誌は、日本比較内分泌学会の会誌です。会誌の発行は年4回（2、5、8、12月末）で、記事は学会カレンダー、シリーズ、トピックス、博士論文レビュー、原著論文紹介、テクニカルノート、エッセイ、学会印象記、研究室紹介、海外だより、会員の広場、おしらせ、その他（書評、追悼文など）で構成されます。

1. 次号に掲載希望の場合、発行の1ヵ月半前までに原稿をお届け下さい。
2. 研究成果の発表のための原著、短報は原則として掲載しませんので、General and Comparative Endocrinologyなどの他の専門誌へ投稿して下さい。
3. 投稿原稿の採用については学術誌編集委員会で査読し決定します。
4. 本誌に掲載された記事を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作権は、日本比較内分泌学会に帰属します。なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は直接本会へご連絡して下さい。

・学協会著作権協議会 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会 Tel:03-3475-5618 Fax:03-3475-5619 E-mail:kammori@msh.biglobe.ne.jp

・アメリカ合衆国における複写については以下に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Tel:(978)750-8400 Fax:(978)750-4744 WWW.copyright.com

5. 本文中の図は、写真も含め、全て白黒とします。Web上への掲載にはカラーの使用も認めます。
6. 掲載料 寄稿や記事の掲載に著者負担はありません。
7. 原稿の送り先

各学術誌編集委員からの依頼原稿は当該委員へE-mailで送ってください。

その他の原稿の送付先

〒022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字烏頭 160-4

北里大学海洋生命科学部 森山 俊介 宛

TEL:0192-44-1926 (森山俊介) / 2217 (天野春菜) FAX:0192-44-2268

E-mail: morisuke@kitasato-u.ac.jp (森山俊介)

a-haruna@kitasato-u.ac.jp (天野春菜)

8. 校正は著者による校正を1回のみ行ないます。印刷所より著者宛にE-mailで初校が送られますので、校正して印刷所へ返送して下さい。
9. 投稿に際しては、以下の執筆要領にしたがって下さい。

執筆要領

1. 原稿は、すべてワードプロセッサ(ワープロ)を使用する。

フォントはタイトル、サブタイトルはゴシック体、本文は明朝体、英数字は Times を使用する。左寄せで打ち、行間は「1行」とする。特殊なコマンドは使用しない。

2. 本誌の刷り上がり1頁は、20字×42行×2段=1680字の分量に対応する。

校正依頼などに必要なので、FAX、TEL、メールアドレスを投稿時に編集委員まで知らせる。

3. 原稿の書き方は以下のようにする。

1) 最初の頁に表題と著者名(所属)、E-mail address を書く。

2) 本文に節を設ける場合、1. ……、2. 、3. 、4. 、をつけて節を示す。節の見出しは簡潔にする。

3) 文字はなるべく常用漢字と新仮名遣いとする。

4) 術語、物質名などは、できる限り日本語で表し、必要に応じてその原語を()で示す。ただし、略号についてはそのまま用いる。

(例)アルドステロン (Ald) 、 cAMP

5) 生物名は、片仮名書きの和名で表し、必要に応じて初出時に学名を()で示す。学名には斜体(イタリック体)文字であることを指示する。

(例)ウシガエル (*Rana catesbeiana*)

6) 人名は、姓の原綴りで示す。

(例)小林は、Gorbman と Bern は、

7) 文字の指定については、プリントアウトした原稿に朱で次のように指示する。

8) 原則として国際単位 (SI) 記号、化学記号、数学記号は立体、量記号は斜体とする。

(例) *h* cm、A、*x* g、H₂O、*sin x*

9) 数字は、原則としてアラビア数字を用いる。ただし、漢字と結合して名称を表すものは、漢字とする。

(例)1つ、2~3時間、50個、数十個、一例

10) 文献の記載方法

参考文献は、本文の出現順に並べ、1から順に通し番号をつけて文末にまとめる。本文中での引用箇所には、通し番号を右肩につけて示す(表示のしかたは下記の例を参照)。著者名を引用する場合、3名以上の連名のときは“ら”あるいは“et al.”とする。

(例)小林らによると^{1)~4)}、……………である^{5)、8)、9)}。

11) 文末の参考文献の記載は、次のようにする。著者が連名の場合でも省略せず、全員の名前を記載する。

[雑誌] 通し番号) 著者名、発行年、題名、雑誌名(省略形)、巻(ボールド)、ページ。

[書籍] 通し番号) 著者名、発行年、表題、編集者、書名、出版社、ページ。

(例) 1) Bern AH, Gorbman A, Kobayashi H, 2007. Hormonal regulation of ion and water transport in vertebrates. *Gen Comp Endocrinol*, **110**, 125-138.

2) 川島誠一郎、1993、ホルモンとホメオスタシス、川島誠一郎編、内分泌学、朝倉書店、pp.6-7.

3) Kawashima S, 1993. Endocrine and Osmoregulation, In: Kobayashi H, (Ed), *Comparative Endocrinology, Zoophysiology*, vol. 1. Springer-Verlag, Berlin, pp.10-25.

- 12) 表は簡潔な標題と必要な説明をつけて、本文とは別に作成する。
 - 13) 図は1枚の刷り上がりの大きさは6.5 cm (横) か、14.0 cm (横) となるように縦寸法とのバランスを考慮して作成する。図のデータフォーマットはTIFF、EPS、PDF、PPTT、Gif、AI形式が望ましい。刷り上りの解像度(縮小する場合は、解像度=縮小率 X \cdot dpi)は、写真はグレースケール256階調、300 dpi以上、線画はモノクロ2値で1200 dpi程度とする。
 - 14) 図には必ず簡潔な標題をつける。図の標題と説明は、図面原稿とは別紙にまとめて書く。
 - 15) 図および表の表示は、図1、図2、……、表1、表2、……の通し番号で行う。これらを挿入する箇所を、本文の原稿欄に赤字で指示する。
 - 16) 図および表を文献から引用した場合は、引用を明記するとともに、引用の許可が必要な場合には、著者の責任で許可をとっておく。
4. **表紙絵** 本誌の表紙に写真や模式図などを1枚掲載する。
 5. **学会カレンダー** 本学会に関連のある国内外関連大会に関するカレンダーを掲載する。学術誌編集委員だけでなく会員から連絡のあったものを掲載する。
 6. **シリーズ** 学術誌編集委員会がシリーズを計画して、原稿を依頼する。また、これに限らずに投稿された総説などを掲載する。原稿の長さは特に定めないが、内容は専門外の会員にも分かるように書く。(1万字程度)
 7. **トピックス** 比較内分泌学あるいは関連分野における最近の目立った研究成果や学界で注目された記事を掲載する。(2千~6千字程度)
 8. **博士論文レビュー** 学位取得後間もない研究者が博士論文の内容を要約したものを掲載する。(5千~1万字程度)
 9. **原著論文紹介** 最新の研究成果を公表した原著論文の内容を要約したものを掲載する。(8百~2千字程度)
 10. **テクニカルノート** 会員に知って欲しいあるいは役立つと思われる情報、実験方法、ニュース、教材あるいは意見の提供を掲載する。(1千~3千字程度)
 11. **エッセイ** 研究活動の思い出や留学などで滞在した研究室、あるいは海外調査や見聞の紹介記事を掲載する。できれば写真を添付し、刷り上がりで2~4ページ程度とする。フォトエッセイとして、実験結果や顕微鏡写真など傑作写真の紹介や希少な実験動物の紹介などを掲載する。(1千~2千字程度、適宜超過も可)
 12. **学会印象記** 国内外の学術集会の紹介記事を掲載する。大学院生や博士研究員などの若い会員からの投稿を歓迎する。(1千字程度)
 13. **研究室紹介** 研究室や研究グループの紹介記事で、原稿は刷り上り1~2ページ程度とする。執筆者を含む顔写真、または研究現場のスナップ等の写真を少なくとも1枚添付する。写真には標題と説明を付ける。(1千~2千字程度)
 14. **会員の広場** 日本比較内分泌学会の会記のほか、関連のある学術集会の案内などの投稿記事を掲載する。その他(書評、追悼文など)テーマを限らず、会員の自由な意見を随時掲載する。